

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“許せない東労組の人権蹂躪・三鷹電車区事件!”

## 「三鷹電車区で何があったのか!」

J R 連合は今、シリーズ「検証・浦和電車区事件の真実」をホームページ上で展開しているが、その1年前に浦和電車区よりもひどい東労組による人権蹂躪があった。その被害者・佐藤久雄さんの当時の日記から再現し、すべてのJ R 東日本社員の皆さんに事実を訴えたい。それは、規律ある職場秩序を確保し、社員がお互いに信頼し合い、安心して働ける職場を築くためである。

### 第21回 支援隊が作成した実録ビデオ ①

画面の流れ	テロップ	画面	画面の説明	ナレーション(音声反訳)
はじめに			このビデオは、組合民主化を求めた「あずさ号運転士」・佐藤久雄さんが、ものすごい罵声と騒乱状態にさらされながらも、歯を食いしばって安全運転のために闘った、汗と涙の記録である。	
組合の動き			J R 連合は、1999年6月の第8回定期大会で「東日本の民主化促進」に総力を結集することを決めた。グリーンユニオンはその最前線に立つ単組として、東日本鉄産労とともに東日本の民主化闘争に取り組んできた。	
芋煮会事件発生			その結果、平成採用組合員の獲得など、大きな成果をあげてきた。しかし、それに対する東労組のリアクションも各地で起こってきた。その一つが、秋川溪谷芋煮会参加問題である。9月5日、秋川溪谷で行われた芋煮会へ、グリーンユニオンとともに東労組組合員が参加した問題で、東労組は闘争宣言を出し、これに参加した組合員を組織破壊分子と断定して、追及行動を開始した。その対象とされた一人が三鷹電車区の佐藤久雄さんだった。	
東労組脱退までの糾弾行動			佐藤さんは連日にわたる拷問にもひどい追及行動にじっと耐えていた。10月15日、一月半に及ぶ追及行動の末、佐藤さんは無理やり脱退届を書かされた。このときから追及行動はいやがらせ行動に変わった。組織破壊者呼ばわりから「裏切り者」へとレッテルを張り替え、攻撃をしやすいとしたのである。	
グリーンユニオン加入後の糾弾行動			10月18日、佐藤さんは身の安全と将来を考え、グリーンユニオンに加入する決断をした。しかし、そこから新たな闘いの始まりだった。佐藤さんに対して、徹底的ないやがらせ行動に出てきた。東労組は事あるごとにヒューマニズムを標榜しているにもかかわらず、出退勤時や出先における罵声はもちろん、「自転車使うな、トイレ使うな、椅子に座るな」などのいじめ、さらには点呼妨害や運転妨害など、基本的な人権の侵害といえる行為に出てきた。またこれらを見て見ぬふりをしている管理者の、事なかれの態度が、彼らの行動を助長している点も見逃すことはできない。グリーンユニオンの闘いはこのような厳しい状況の中から始まった。逃げてはダメだ、今こそ勇気を！を合言葉に歯を食いしばってがんばってきた。しばらくは実態の記録をごらんいただきたい。	
佐藤久雄さんの一日	「出勤の足どり重く」		原告の佐藤久雄さんが、出勤のため、三鷹駅方面から三鷹電車区へ向かって歩く様子。(歩いている道路は三鷹電車区敷地内の指定通路)今日も職場での集団的糾弾行動があると思うと、足取りが自然に重くなってしまう。	
	「門前では見張りが」		三鷹電車区の正門前に着くと、やはり東労組の組合員が待ち受けており、支援隊に対して罵詈雑言を吐いていた	【音声反訳】ワァーワァーワァー。帰れ!帰れ! おい!おい! カメラ撮ってんじゃねえよ。このやろう。〇〇ヤロー なんだよ。オメェ。